

CA NSM 用  
Dell OpenManage  
Connection  
バージョン 3.4  
インストールガイド



# メモ



**メモ**：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

---

本書の内容は予告なく変更されることがあります。  
© 2011 すべての著作権は **Dell Inc.** にあります。

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書で使用されている商標：Dell™、DELL のロゴ、Dell Precision™、OptiPlex™、Latitude™、PowerEdge™、PowerVault™、PowerConnect™、OpenManage™、EqualLogic™、KACE™、FlexAddress™、および Vostro™ は Dell Inc. の商標です。Intel®、Pentium®、Xeon®、Core™、および Celeron® は、米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標です。AMD® は Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標です。AMD Opteron™、AMD Phenom™、および AMD Sempron™ は Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。Microsoft®、Windows®、Windows Server®、MS-DOS®、および Windows Vista® は米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Red Hat Enterprise Linux® および Enterprise Linux® は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標です。Novell® は、米国およびその他の国における Novell Inc. の登録商標です。SUSE™ は、米国およびその他の国における Novell Inc. の商標です。Oracle® は Oracle Corporation および / またはその関連会社の登録商標です。Citrix®、Xen®、XenServer®、XenMotion® は米国およびその他の国における Citrix System, Inc. の登録商標または商標です。VMware®、Virtual SMP®、vMotion®、vCenter® および vSphere® は、米国またはその他の国における VMware, Inc. の登録商標または商標です。

本書で参照される CA ロゴおよび CA 製品名は、CA, Inc. またはその子会社の登録商標または商標です。商標または製品の権利を主張する事業体を表すためにその他の商標および社名が使用されていることがあります。それらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に帰属するものではありません。

# 目次

1	はじめに	5
	<b>概要</b>	5
2	システム要件	7
	<b>作業を開始する前に</b>	7
	<b>OpenManage Connection コンポーネント</b>	7
	<b>必要条件</b>	8
	管理ステーションの必要条件	8
	管理下システムの必要条件	9
	<b>ウェブベースの管理下システムアプリケーションを         起動するためのウェブブラウザのサポート</b>	9
3	OpenManage Connection のインストール とアンインストール	11
	<b>OpenManage Connection のインストール</b>	11
	インストール後のタスク	13
	<b>OpenManage Connection コンポーネントの         インストール</b>	15
	<b>分散環境における OpenManage Connection の         インストール</b>	16
	<b>OpenManage Connection バージョン 3.3 からの         アップグレード</b>	17

<b>OpenManage Connection の</b>	
アンインストール . . . . .	18
変更 . . . . .	20
修復 . . . . .	21
<b>分散環境における OpenManage Connection の</b>	
アンインストール . . . . .	21

# はじめに

## 概要

本ガイドは、Computer Associates (CA) Network and Systems Management (NSM) r11.1 SP2、CA NSM r11.2 CUM1、CA NSM r11.2 SP1、および CA NSM r11.2 SP2 向け Dell OpenManage Connection (以下 OpenManage Connection と呼びます) のインストール方法を説明するものです。

OpenManage Connection は、Dell デバイスの管理を CA NSM のユーザーに拡張するシステム管理の統合ツールです。このツールにより、ユーザーは次が可能になります。

- Dell デバイス管理を統合して管理を簡素化。
- 広範囲に分散した企業ネットワークから収集され、単一の CA NSM コンソールにおいてリアルタイムで使用されるシステム正常性情報を提供するための、Dell エージェントを利用した Dell デバイスの監視。
- Dell OpenManage Server Administrator (OMSA)、Dell OpenManage Server Administrator Storage Management (OMSS)、および Dell Remote Access Controllers (DRAC) などのシステム管理ソフトウェアアプリケーションの起動と使用。

OpenManage Connection は、Enterprise Management Console でデル特有のアラートが受信されたときに、システム管理担当者が Dell システムに対する是正措置を取ることも可能にします。これらのアラートには、温度、ファン速度、およびシャールシントレーションが含まれます。



## システム要件

本章では、OpenManage Connection をインストールするために必要な最小および推奨要件についての情報を説明します。

### 作業を開始する前に

- 「**必要条件**」の項を読んで、ご利用のシステムが最小要件を満たしていることを確認してください。
- インストーラに付属する OpenManage Connection readme ファイルをお読みください。これには、既知の問題に関する情報に加え、ソフトウェア、ファームウェアおよびドライババージョンに関する最新情報が記載されています。readme ファイルは、[support.dell.com/manuals](https://support.dell.com/manuals) でもご利用いただけます。

### OpenManage Connection コンポーネント

OpenManage Connection は、Distributed State Machine (DSM)、WorldView (WV)、および Enterprise Management (EM) の 3 つのコンポーネントで構成されています。OpenManage Connection コンポーネントは次のタスクを実行します。

- DSM：エージェントを分類および監視し、エージェントのトラップをフォーマット。
- WV：システム管理アプリケーションの起動ポイントを提供し、サブシステムの状態を表示。
- EM：リモートアクセスコントローラ (RAC) のメッセージの記録を含む。

## 必要条件

次の条件は、CA 用 OpenManage Connection をインストールするための管理ステーションおよび管理下システムの必要条件です。

### 管理ステーションの必要条件

次は、OpenManage Connection をインストールするための管理ステーションの必要条件です。

- CA NSM r11.2 SP1、CA NSM r11.2 CUM1、CA NSM r11.1 SP2、または CA NSM r11.2 SP2 対応の Microsoft Windows オペレーティングシステムバージョン。対応バージョンは次のとおりです。
  - NSM マネージャ対応：Windows 2008 (x86 / x64)
  - NSM マネージャ対応：Windows 2008 R2 (x64)
  - NSM リモート管理クライアント対応：Windows Vista (x86 / x64)
  - NSM リモート管理クライアント対応：Windows 7 (x86 / x64)
  - NSM リモート管理クライアントの後続メンテナンス対応：Microsoft Windows XP Professional (32 ビットバージョンのみ)
  - NSM マネージャ対応：Microsoft Windows 2003 Standard、Enterprise、Datacenter、および Small Business Server (Microsoft Windows 2003 R2 を含め 32 ビットバージョンのみ)



**メモ：**オペレーティングシステムは定期的に NSM に追加されます。サポートされるオペレーティングシステムの最新情報については、CA NSM カスタマーサポートにお問い合わせください。

- 最小 10 MB ハードディスクドライブ空き容量。
- OpenManage Connection をインストールするシステムに対する管理者権限。
- CA NSM r11.2 SP1、CA NSM r11.2 CUM1、CA NSM r11.1 SP2、または CA NSM r11.2 SP2。
- OpenManage Connection の DSM または EM コンポーネントをインストールする前に、MDB および awsservices が実行されていることを確認してください。
- DSM および EM をインストールする前に、まず OpenManage Connection の WV コンポーネントをインストールするようにしてください。
- DellOpenManage Connection WV コンポーネントをインストールする前に、SQL サーバーが動作していることを確認してください。
- OpenManage Connection をインストールまたはアンインストールする前に、すべての CA NSM アプリケーションを終了してください。



## 管理下システムの必要条件

次は、OpenManage Connection をインストールするための管理下システムの必要条件です。

- Dell OpenManage Server Administrator が管理下システムにインストールされていることを確認してください。Server Administrator のインストールの詳細については、**support.dell.com/manuals** で『Dell OpenManage Software Installation Guide』（Dell OpenManage ソフトウェアインストールガイド）または『Dell OpenManage Installation and Security User's Guide』（Dell OpenManage インストールおよびセキュリティユーザズガイド）を参照してください。
- SNMP サービスが Dell 管理下システムとして分類されるように、SNMP サービスが設定および実行されていることを確認してください。

## ウェブベースの管理下システムアプリケーションを起動するためのウェブブラウザのサポート

サポートされるウェブブラウザは、Dell OpenManage Server Administrator、RAC、および シャーシ管理コントローラー（CMC）製品対応のブラウザと同じです。対応ブラウザの詳細については、**support.dell.com/manuals** で利用可能な『Dell システムソフトウェアサポートマトリックス』を参照してください。



# OpenManage Connection のインストールとアンインストール

本章では、OpenManage Connection をインストール、アップグレード、およびアンインストールする方法を説明します。

## OpenManage Connection のインストール

CA NSM r11.2 SP1、CA NSM r11.1 SP2、CA NSMr11.2 SP2、または CA NSM r11.2 CUM1 に OpenManage Connection 3.4 をインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 Dell サポートサイト **support.dell.com** にアクセスします。
- 2 **Dell OpenManage Connection for CA NSM** インストールソフトウェアをダウンロードし、展開します。
- 3 OpenManage Connection のインストールを開始する前に、すべてのアプリケーション ウィンドウを閉じてください。



**メモ**：MDB およびすべての CA NSM (awservices) が正常に実行されており、異なるコンポーネント間の接続が存在することを確認してください。

- 4 インストールソフトウェアのダウンロードおよび展開に指定したディレクトリから、インストーラを実行します。

**Dell OpenManage Connection for CA NSM** (CA NSM 用 Dell OpenManage Connection) ウィザードが表示されます。

- 5 Dell ソフトウェア製品ライセンス契約を読み、**I accept the terms of the license agreement** (ライセンス契約の条項に同意する) をクリックしてください。
- 6 **Next** (次へ) をクリックして続行します。  
**Select Features** (機能の選択) 画面が表示されます。

- 7 インストールするコンポーネントを選択し、**Next** (次へ) をクリックします。

コンポーネントを選択すると、そのコンポーネントに関する短い説明が表示されます。



**メモ**：NSM のインストール中にコンポーネントをインストールしなかった場合、コンポーネントは **Select features**（機能の選択）画面に表示されません。

分散環境で **OpenManage Connection** を使用している場合は、「[分散環境における OpenManage Connection のインストール](#)」を参照してください。

**8 DSM Components**（DSM コンポーネント）または **WorldView Components**（WorldView コンポーネント）を選択した場合、**Next**（次へ）をクリックすると、**Select MDB**（MDB の選択）画面が表示されます。

- a **WV** クラスおよびオブジェクトのインストール元となるリポジトリを **Select MDB**（MDB の選択）ドロップダウンリストから選択します。デフォルトのリポジトリは、ドロップダウンリストで事前を選択されています。
- b **WV** コンポーネントをインストールする場合、MDB がインストールされているシステムに **WV** コンポーネントをインストールするようにしてください。

**9 Install**（インストール）をクリックします。

Distributed State Machine（DSM）コンポーネントをインストールした場合、**InstallShield Wizard Complete**（InstallShield ウィザード完了）画面が表示され、すぐに **resetdsm** および **awservices start** コマンドを実行するオプションが提供されます。**Yes, I want to run "resetdsm" and "awservices start" now**（はい、今すぐ「resetdsm」および「awservices start」を実行します）チェックボックスを選択し、コマンドをすぐに実行します。

**10 Finish**（終了）をクリックしてインストール作業を完了します。



**メモ**：CA NSM 移行ガイドで推奨されているとおり、CA NSM をアップグレードする場合は、アップグレード前に OpenManage Connection をアンインストールし、アップグレード後に再度インストールするようにしてください。

## インストール後のタスク

CA NSM r11.2 SP1、CA NSM r11.1 SP2、CA NSMr11.2 SP2、または CA NSM r11.2 CUM1 への OpenManage Connection バージョン 3.4 のインストール後、次の手順を実行します。

- CA NSM の **Common Discovery** コンポーネントがインストールされている場合、<Common Discovery インストールディレクトリ>\Config にあるルール、分類ファイル「CmnDscvrClassification.xml」を次のように手動でアップデートし、CA NSM rules ファイルと同様にフォーマットしてください。

```

<Device Class="DellIOOB" ClassScheme="Hardware Type">
  <Method Name="SNMPGeneric">
    <Filter>(SysOID LIKE "1.3.6.1.4.1.674.10892.2")</Filter>
  </Method>
</Device>

```

- 英語以外のオペレーティングシステム（管理ステーション内）では、CA NSM の EM コンポーネントがインストールされているディレクトリ、「<CA インストールディレクトリ>\SC\CCS\ATSERVICES\CONFIG\LOCAL」にローカライゼーションフォルダを作成します。その後、それぞれのローカライズ済みフォルダに **English**（英語）フォルダの内容をコピーします。表 3-1 に、オペレーティングシステムに対応するローカライゼーションフォルダの命名規則をリストします。

**表 3-1 ローカライゼーションフォルダの命名規則**

オペレーティングシステム	ローカライゼーションフォルダ名
日本語	日本語
ドイツ語	ドイツ語
フランス語	フランス語
繁体字中国語	中国語
簡体字中国語	中国語
スペイン語	スペイン語
韓国語	韓国語

- DSM コンポーネントをインストールして、**Yes, I want to run "resetdsm" and "awsservices start" now**（はい、今すぐ「resetdsm」および「awsservices start」を実行します）チェックボックスを選択しなかった場合は、コマンドプロンプトを開き、次のコマンドを実行します。
  - resetdsm
  - awsservices start

# OpenManage Connection コンポーネントのインストール

OpenManage Connection コンポーネントをインストールするには、次の手順を実行します。

## WorldView (WV) のインストール

WV コンポーネントは、CS NSM の WV コンポーネント、または Remote Administrative Client がインストールされているシステムにインストールします。WV をインストールすると、次のコンポーネントがインストールされます。

- ビットマップおよびアイコンファイル
- すべてのデバイスクラス
- MIB ファイル

## Distributed State Machine (DSM) のインストール

DSM は、CA NSM の DSM コンポーネントがインストールされているシステムにインストールします。DSM をインストールすると、次のコンポーネントがインストールされます。

- DSM ポリシーファイル
- WV エージェントクラス
- MIB ファイル

## Enterprise Management (EM) のインストール

EM は、CA NSM の EM コンポーネントがインストールされているシステムにインストールします。EM をインストールすると、メッセージレコードアクションファイルがインストールされます。



**メモ：** インストールするコンポーネントを選択すると、OpenManage Connection は関連ファイルをデフォルトのディレクトリにインストールします。

# 分散環境における OpenManage Connection のインストール

分散環境で OpenManage Connection をインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 WV コンポーネントは、WorldView または Remote Administrative Client がインストールされているシステムにインストールします。WV コンポーネントをインストールすると、OpenManage Connection は Dell デバイス クラスを作成し、アイコンおよびイメージをそれぞれ該当する場所にコピーします。
- 2 DSM コンポーネントは、CA NSM DSM コンポーネントがインストールされているシステム上にインストールします。DSM コンポーネントをインストールすると、OpenManage Connection は Dell エージェント クラスおよびメニューを作成します。
- 3 EM は、CA NSM の Enterprise Management コンポーネントがインストールされているシステムにインストールします。EM コンポーネントをインストールすると、OpenManage Connection はメッセージレコードアクション (MRA) および Dell DRAC SNMP トラップのアクションを作成します。

## OpenManage Connection バージョン 3.3 からのアップグレード

OpenManage Connection バージョン 3.3 から OpenManage Connection バージョン 3.4 へアップグレードすることができます。現在のバージョンからアップグレードするには、次の手順を実行します。

- 1 Dell サポートサイト [support.dell.com](http://support.dell.com) にアクセスします。
- 2 **Dell OpenManage Connection for CA NSM** インストールソフトウェアをダウンロードし、展開します。
- 3 OpenManage Connection のインストールを開始する前に、すべてのアプリケーション ウィンドウを閉じてください。



**メモ** : MDB およびすべての CA NSM (awservices) が正常に実行されており、異なるコンポーネント間の接続が存在することを確認してください。


- 4 インストールソフトウェアのダウンロードおよび展開に指定したディレクトリから、インストーラを実行します。


**Dell OpenManage Connection for CA NSM - InstallShield Wizard** (CA NSM 用 Dell OpenManage Connection - InstallShield ウィザード) が表示されます。

5 **Update** をクリックします。

OpenManage Connection はバージョン 3.3 からバージョン 3.4 にアップグレードされました。

6 **Finish** (終了) をクリックします。


 **メモ**：OpenManage Connection バージョン 3.3 にインストールされた機能のみが、OpenManage Connection バージョン 3.4 でアップデートされます。


 **メモ**：OpenManage Connection バージョン 3.3 がインストールされた CA NSM r11.1 SP2 および CA NSM r11.2 CUM1 のみを OpenManage Connection バージョン 3.4 にアップグレードできます。

 **メモ**：アップグレード後、Dell デバイスが TCP/IP ネットワークで使用可能になりますが、Dell 管理下システムの Business Process Views (ビジネスプロセスビュー) は使用できません。**Business Process Views** (ビジネスプロセスビュー) を表示するには、`resetdsm` および `awservices start` コマンドを実行します。

## OpenManage Connection のアンインストール

 **メモ**：Dell は、OpenManage Connection をアンインストールする前に、CA NSM アプリケーションを終了することを推奨します。

 **メモ**：OpenManage Connection は、**プログラムの追加と削除** または **インストール** を使用してアンインストールできます。

 **メモ**：WorldView コンポーネントのアンインストール時間は、多少長くなる場合があります。

管理ステーションから OpenManage Connection をアンインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 **プログラムの追加と削除** に進みます。
- 2 **プログラムの追加と削除** ダイアログボックスで、**Dell OpenManage for CA NSM** を選択し、**削除** をクリックします。

**Uninstall Dell OpenManage Connection** (Dell OpenManage Connection のアンインストール) ウィンドウが表示されます。

アンインストール手順は、OpenManage Connection および OpenManage Connection と共にインストールされた関連のあるコンポーネントを削除します。

特定のコンポーネントをアンインストールする場合は、対象のコンポーネントを選択し、**Modify** (変更) をクリックします。詳細については、「[分散環境における OpenManage Connection のアンインストール](#)」を参照してください。

インストールを復元する場合は、**Repair** (修復) をクリックします。詳細については、「[修復](#)」を参照してください。



- 3 WV コンポーネントをインストールした場合、**Select MDB** (MDB の選択) 画面が表示されます。

**Select MDB** (MDB の選択) ドロップダウンリストから DSM クラスおよびオブジェクトがインストールされたりポジトリを選択します。インストーラは、DSM クラスとオブジェクト、およびリポジトリからの全データを削除します。WV クラスおよびオブジェクトを削除する場合は、**Remove WV classes and objects** (WV クラスおよびオブジェクトを削除する) チェックボックスを選択します。

DSM コンポーネントをアンインストールする場合、**resetdsm** および **awservices start** コマンドの実行を求める情報メッセージが表示されます。

- 4 **Finish** (終了) をクリックしてアンインストール作業を終了します。



**メモ** : DSM コンポーネントをアンインストールして、**Yes, I want to run "resetdsm" and "awservices start" now** (はい、今すぐ「resetdsm」および「awservices start」を実行します) チェックボックスを選択しなかった場合は、コマンドプロンプトを開き、**resetdsm** および **awservices start** コマンドを実行します。



**メモ** : 「[インストール後のタスク](#)」で説明したように、英語以外のオペレーティングシステムでローカライゼーションフォルダを作成 (管理ステーション内) した場合は、EM コンポーネントをアンインストールした後にローカライゼーションフォルダを手動で削除する必要があります。

## 変更

CA NSM 用 OpenManage Connection インストーラの **Modify** (変更) オプションは、インストールされたコンポーネントを変更します。特定のコンポーネントをインストールする場合は、そのコンポーネントを選択し、**Modify** (変更) をクリックします。特定のコンポーネントをアンインストールする場合は、そのコンポーネントの選択を外し、**Modify** (変更) をクリックします。コンポーネントのインストールは、次の順序でのみ行ってください。

- 1 WV
- 2 DSM
- 3 EM

コンポーネントのアンインストールは、次の順序でのみ行ってください。

- 1 EM
- 2 DSM
- 3 WV

## 修復

破損または欠落したファイル、欠落したレジストリエントリを修復する場合は、**Repair**（修復）オプションを実行してアプリケーションを修復します。



**メモ**：Dell エージェントの設定が変更された、または OpenManage Connection が修復されると、OpenManage Connection コンポーネントはデフォルトの値で重複するレコードを作成します。修復後には、重複した Dell のレコードを削除するようにしてください。

# 分散環境における OpenManage Connection のアンインストール

分散環境での OpenManage Connection のアンインストール中、次の手順を実行します。

- 1 EM コンポーネントをアンインストールします。これにより、EM コンポーネントのインストール時に作成されたすべての **MRA** が削除されます。
- 2 DSM コンポーネントをアンインストールします。これにより、ポリシーファイルおよび **.wvc** ファイルが削除されます。ただし、DSM コンポーネントのアンインストール時に、Dell エージェントクラスおよびオブジェクトは **MDB** から削除されません。
- 3 WV コンポーネントをアンインストールします。選択された **MDB** 画面に WV クラスおよびオブジェクトを削除するオプションが表示されます。**Remove WV classes and objects** (WV クラスおよびオブジェクトを削除する) チェックボックスを選択すると、OpenManage Connection は選択した MDB からすべての Dell エージェントクラスおよびオブジェクトを削除します。



**メモ**：DSM コンポーネントをアンインストールして、**Yes, I want to run "resetdsm" and "awservices start" now** (はい、今すぐ「resetdsm」および「awservices start」を実行します) チェックボックスを選択しなかった場合は、コマンドプロンプトを開き、**resetdsm** および **awservices start** コマンドを実行します。